

島田市長 染谷絹代 様

提 言 書

令和5年9月29日

島田市議会

提 言 書

本市議会では、令和5年8月30日から9月29日までの間、令和4年度一般会計の決算に関する事項について審査を行った。当決算審査の内容を踏まえ、以下のとおり提言する。

1 学校施設の維持修繕について

市内の小・中学校については、川根小学校をはじめとして島田第四小学校、島田第一小学校が改築され、素晴らしい設備・環境の中で教育活動がなされている。一方で、老朽化が進んでいる他校においては、設備の不具合を抱えながら教育活動が行われており、雨漏りや高圧電気設備の修繕が予算の不足により次年度以降に見送られていると思われる。

学校施設は、児童生徒が多く時間を過ごす場所であり、安全安心が大前提となる。各学校から数多くの修繕を要請され、限られた予算の中で優先順位をつけて対応していることは承知しているが、児童生徒の安全安心のため、また、教育現場の質を確保するため、修繕すべきものについてはできる限り早期に対応する必要があると考える。そこで、学校施設の維持修繕に十分に対応するため、予算を適切に配分されるよう努められたい。

2 安全安心な学校給食の提供について

昨年来、物価が高騰し続けており、市民の生活を直撃している。学校給食も物価高騰の影響を受けており、今年度は国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を原材料費の高騰対策に充てている。学校給食は栄養バランスがよく考えられており、子どもの食事を考える保護者等から見れば大変ありがたいものである。しかし、国からの交付金がいつまでも継続することは考えづらく、今後の物価高騰の対策をとらなければならないことが想定される。そこで、保護者等の負担金を上げることなく、量と質において安全安心な学校給食を提供するため、原材料費の価格高騰分を市が負担するよう配慮されたい。

3 シティプロモーション推進事業、移住定住促進事業について

シティプロモーション推進事業においては、島田市緑茶化計画として活動してきており、令和4年度は東京駅イベントスペース「スクエア ゼロ」にて開催した「緑茶縁日」が大変好評で、多くの人で賑わい島田市の魅力を知ってもらう良い場となった。

新型コロナウイルス感染症対策事業として実施したアンテナショップの出

店事業ではあるが、このような機会は島田市の魅力発信、市内業者の販路拡大による地域経済の活性化に対する成果は評価されるものである。また、島田市に興味を持ってもらうことにより、将来的には移住・定住促進につながるものとする。

このことから、アンテナショップの出店事業をはじめとした島田市の情報発信や関係人口を増やす事業の推進は、成果が期待される事業であるものとして今後においても推進されるよう努められたい。

それに伴い移住・定住ポータルサイトのアクセス数の維持・向上のため、引き続き閲覧しやすいサイトの形成と運営に努められたい。